

桂・ニュース

KATSURA NEWS

1
 月号
 NO. 202
 2013・1・1
 毎月1回・1日発行
 〒615-8256 京都市
 西京区山田平尾町17
 TEL075-391-5811(代)
 編集：広報課
 印刷：(有)アクト

基本理念

私たちは、患者さんの人権を尊重し、地域に必要な
 基幹的中心的な医療を担当すると共に、さらに高次
 の医療に対応できるよう努力します。

社会福祉法人 京都社会事業財団 京都桂病院

京都桂病院ホームページ
<http://www.katsura.com>



謹賀新年

本年もよろしくお願ひ申し上げます
 平成25年 元旦



腎臓病の治療

腎臓内科
 医長

田川美穂



！こんなとき腎臓内科を受診して下さい

腎臓病の代表的な症状は、体がむくむ、息が苦しい
 などです。ただし、これらの症状は心臓や肝臓の病気
 でも出ることがあります。また、腎臓病であっても、症
 状が全くないということがしばしばあります。そこで、
 血液や尿の検査が重要になります。尿検査で尿蛋白、
 尿潜血が持続的に出ている場合は慢性腎炎の場合が
 あります。また、腎臓の機能を測るのに一般的に用い
 られている検査として、クレアチニンという値がありま
 す。クレアチニンは老廃物の代表で、腎臓が働いてい
 れば、老廃物が腎臓から排泄されるので、正常値に保
 たれますが、腎臓が悪くなると体の中に老廃物がたまり、
 正常値より高い値になります。年齢、性別により正
 常値が異なりますが、1.3mg/dLを超えれば異常と考
 えた方がよいでしょう。また、最近ではeGFR(推定糸
 球体ろ過率)という数字がよく用いられます。正常値が
 約100ml/min/1.73m²ですので、eGFRの数値が、自

分の腎臓が正常の何%の機能かということとほぼ一致
 します。例えばeGFR 30ml/min/1.73m²であれば正
 常の30%しか腎臓が機能していないということになり
 ます。eGFRが60以下であれば、受診して下さい。

！慢性腎臓病教育目的入院について

慢性腎臓病(CKD)の進行予防治療は血圧のコント
 ロール、食事療法が中心ですが、なかなか、実行するの
 が難しいものです。そこで、CKDの「教育目的入院」を
 当院では行っています。実際に病院の食事で食事療法
 を体験していただき、栄養指導を聞いていただきま
 す。また、薬剤師よりの薬剤の説明やリハビリ療法士さ
 んによる運動療法も行います。血圧、体重の自己測定
 の習慣をつけるよい機会でもあります。医師や看護ス
 タッフから、ビデオや冊子を使った腎臓病についての
 説明もあります。このような教育目的入院で、
 実際、CKDの進行を遅らせることができたとい
 うデータもあります。ぜひ、活用してください。



京都桂病院

人間ドック

健康管理センターでは、4月末日まで契約以外
 の一般の皆様へ「特別健診推進月間」を設け、特
 別料金にてドックをお受けいただけます。是非、
 この機会にドックを受診されてはいかがでしょうか？
 お申し込みはお電話でお受けしております。

一泊ドック(1泊2日)

外来ドック(半日)

月・水

月・火・水・木・金・土

人間ドック

「特別健診推進月間」平成25年1月～4月

4月末
 まで

〈一般の方対象〉

特別健診推進月間中料金

一泊ドック(月・水)……………89,250円 → **75,000円**

外来ドック(月～土)……………51,450円 → **40,000円**
 (税込) (税込)

お問合せ

D棟1階 健康管理センター 窓口 まで
 TEL.075-392-3501(直通)